



2019年8月26日
京都鉄道博物館

展示車両**初**対決！ 企画展連動キャンペーン
あなたはどっち系？ゴーパー？ヨンパー？
投票の多かった車両をかつての色にラッピングします



京都鉄道博物館では、企画展「列車愛称進化論～名前から見る鉄道～」との連動キャンペーンとして、本館1Fで展示している581系と489系のどちらかをかつての色にラッピングします。

ラッピングする車両をお客様に投票していただき、投票数の多かった方を期間限定で展示します。展示車両の対決キャンペーンは初めての実施となります。

1. 投票期間（館内投票ならびにweb投票）

【館内投票】

期間 2019年9月1日（日）～2019年9月30日（月）

場所 本館1F インフォメーション横

※館内投票は、1票につき10ポイントでカウントします。

【web投票】

期間 2019年9月2日（月）10:00～2019年9月30日（月）17:30

※web投票は、1票につき1ポイントでカウントします。

2. 投票結果

時間 2019年10月1日（火）14:00（予定）

※ホームページ等でお知らせします。

3. ラッピング車両の公開

期間 2019年10月14日（月・祝）～2020年1月31日（金）

※10月14日「鉄道の日」に合わせて公開します。

※2019年10月12日（土）、13日（日）にラッピング作業をご覧いただけます。

※ラッピング車両は、上記期間中に、愛称（ヘッドマーク等）を取り付け、定期的に変更します。

「581系（クハネ581形35号車）／「ゴーパー」

国鉄色を「シュプール&リゾート色」へ



「国鉄色」



「シュプール&リゾート色」

かつて、1980年代から90年代のスキーブームに合わせて、関東地区や関西地区から、主に信越方面への専用列車として、「シュプール号」が設定された。関西地区からの設定では、1986（昭和61）年度から581系を使用した列車の運転を開始した。1992（平成4）年から「シュプール&リゾート色」として専用の色が採用されたが、1997（平成9）年には、再度別の色に変更され、わずか5年のみ採用された塗装となった。

「489系（クハ489形1号車）／「ヨンパー」

国鉄色を「白山色」へ



「国鉄色」



「白山色」

489系は、1972（昭和47）年3月のダイヤ改正に合わせて、特急列車となった「白山」に充当するために登場した車両（運転区間：金沢～上野間）。1989（平成元）年に、サービス向上を目的に車内の一部をリニューアル。その際に「白山色」として色を一新した。特急列車「白山」が廃止される1997（平成9）年以降に、「白山」として使用されていた車両は、現在当館で展示している国鉄色に、戻っている。

※設備上、一部ラッピングできない箇所がございます。

※ラッピング車両が決定後の詳細については、後日お知らせします。